

ドボベット®を使用されている方へ

ドボベット®の塗り方のコツ

ドボベット®には軟膏・ゲル・フォームの3種類があります。
医師は患者さんの状態を確認したうえで、適したものを選択しています。

ドボベット®には軟膏、ゲル、フォームの3種類がありますが、いずれかを推奨するものではありません。
ご使用の種類に関する部分をご確認ください。



監修 江藤 隆史 先生 (あたご皮フ科 副院長 / 東京通信病院 客員部長)



本冊子で紹介した内容を
詳しくご紹介しています。



KYOWA KIRIN

ドボベツト[®]軟膏 ゲルフォームの塗り方

1日1回適量を患部

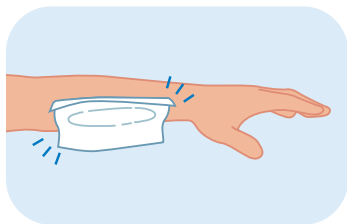
大きな皮疹

皮疹の境目まで優しく塗り広げます。

強く擦り込むと患部を刺激し、かゆみが出るなど症状が悪化する原因となることがあります。



油性のお薬であり、塗りすぎるとべたつきを感じる場合がありますので、適量を塗り広げることが大切です。



使用量は表面が「てかる程度」や「ティッシュペーパーが軽くくっつく程度」を目安にご判断ください。

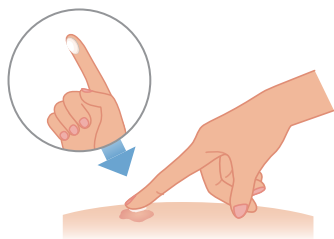


お薬を塗り終わった後は、手を優しく

に塗布してください。

頭部や小さな皮疹

皮疹部分にのせるように、優しく丁寧に塗ってください。

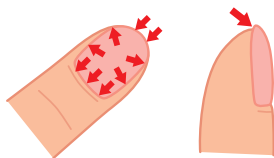


指先に薬剤を取り、
皮疹に塗ります。



頭部へ塗る場合、お薬を
出す前に皮疹の部分を
よく確認しておきましょう。

爪への塗り方

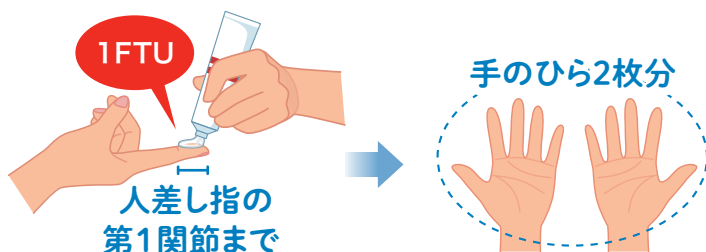


皮膚と爪の境目、爪の先や根元に
入れ込むようにして塗ります。

洗って、手についたお薬をきれいに洗い落としてください。

ドボベツト[®]軟膏の使い方

人差し指の先から第1関節までの量 (1FTU: 約0.5g)*で、手のひら2枚分 (指を含む) の面積に塗ることができます。



*Finlay AY. et al.:Lancet 334(8655), 155, 1989

- 15gと30gの2種類の包装があります。



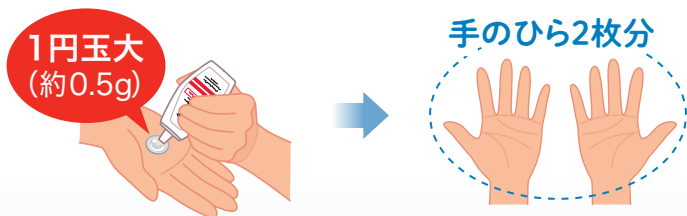
- 1週間に使用する量は、90gまでとしてください。
- 複数の剤形のドボベツト[®]をお使いの場合、すべての剤形をあわせ

ドボベット®ゲルの使い方



最初にボトルを振って
からお使いください。

1円玉大の量 (約0.5g) で、手のひら2枚分 (指を含む)
の面積に塗ることができます。



- ドボベット®ゲルは、
水やアルコールを含まない
油性ゲル製剤です。
- 15gと30gの
2種類の包装があります。



て1週間に90gを超えて使用できません。

ドボベット[®]フォームの使い方



上下に**5秒以上**よく振ってからお使いください。

ボタンを下まで押し切って噴霧してください。
3cm以上離して噴霧します (**6cm程度を目安に**)。

大きな皮疹



直接噴霧
します。



皮疹の境目まで
優しく指先で
塗り広げます。

小さな皮疹

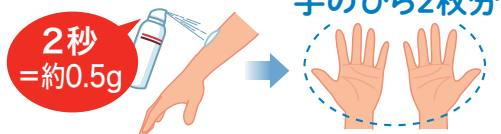


一度手など
に取ります。



指先に薬剤を
取り、皮疹に
塗ります。

2秒間噴射した量 (約0.5g) で、手の
ひら2枚分 (指を含む) の面積に塗る
ことができます。



ご参考



1秒間
噴射



手のひら
1枚分の面積
に塗れます

- ドボベット[®]フォームだけを使っている場合、**5日で1本 (60g)** を超
- 複数の剤形のドボベット[®]をお使いの場合、**すべての剤形をあわせ**

初回ご使用時は、ボタンを強めに押し込んでください

輸送中の誤噴射を防ぐ目的で、**ボタンが本体に接合**されています。



接合部



ボタンがうまく押せないときは、指を少し後ろに



指を後ろにずらし、**ボタンの外側を押すように**すると、下まで押しやすくなります。

ボトルを机に置き、ボタン全体を上から押すのも一法です。滑らないよう、置く位置にご注意ください。



ひんやり感が気になるときは

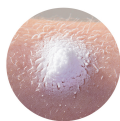
噴霧直後にひんやりした感じが気になる場合は、**一度手などに取り替**から塗布するとよいでしょう。

少し離して噴霧してください

肌に**近づけすぎると、周囲に飛び散ってしまうおそれ**があります。6cm程度を目安に、3cm以上離して噴霧しましょう。



噴射したときは



こんもりとは盛り上がり
がらず、肌にくっつくような形で吹きつけられます。



1カ所に連続して出しすぎると、フォームが肌からすべり落ちてしまうことがありますのでご注意ください。

えて使用できません。

で1週間に90gを超えて使用できません。

ご使用にあたっての注意

注意

- 患部以外には使用しないでください。
- 顔面の皮疹及び粘膜には使用しないでください。
- お薬を塗り終わった後は、手を優しく洗って、手についたお薬をきれいに洗い落としてください。
- 下記に当てはまる方は、医師・薬剤師にその旨をお伝えください。
 - ほかの病院または皮膚科以外の診療科にも通っている方
 - ほかに使っているお薬がある方
 - 高カルシウム血症になったことがある方
 - 腎臓の病気がある方、腎機能が低下している方
 - 妊婦または妊娠している可能性がある方、授乳中の方
- いつもと違う症状が現れたら、すぐに医師にお伝えください。
(かゆみ、腫れ、刺激症状、倦怠感、脱力感、食欲不振など)
- 長期にわたって使用する場合は、定期的に医師の診察を受けましょう。
- 医療関係者の指示があった場合を除き、お薬を塗ったところをラップなどで覆うことはしないでください。
- このお薬をほかの人に渡さないでください。
- 頭皮などに塗る際に、目に入らないように注意してください。
- 必ず医師から指示された用法・用量を守ってご使用ください。
- 症状が良くなったり、コントロールできるようになっても、ご自身の判断でお薬を止めないでください。

保管について

- 小児の手の届かないところに保管してください。

ドボベツ*軟膏/ドボベツ*ゲル

- 光の当たる場所や低温となる場所を避け、キャップを閉めて室温で保管してください。

ドボベツ*フォーム

- 可燃性の高圧ガスを使用した製品です。危険を避けるため次の点に十分注意してください。
 - 炎や火気の近くで使用しないでください。
 - 火気を使用している室内で大量に使用しないでください。
 - 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないでください(夏場:車内のダッシュボードなど、冬場:ストーブの前など)。
 - 火の中に入れてください。
 - 使い切ってから捨ててください。

廃棄について

ドボベツ*フォーム

- 中身を使い切ったうえで廃棄してください。
- 必ず火気のない通気性のよい戸外で、容器内に残っているガスを、シューという噴射音が完全に消えるまで出し切ってください。
- ガス抜き後、お住まいの市町村等で決められた方法により廃棄してください。
- 製品のキャップ(プラスチック)は、缶(アルミニウム)とはずして分別してください。